

会話授業におけるメディアに対する性格づけについて

加藤 由香里

キーワード：会話授業、メディア活動、先有知覚、信念、授業設計

要旨：本研究では、初級学習者35名を対象として、5つのメディア活動（歌の聞き取り、ビデオに基づくロールプレイ、テキストに基づくロールプレイ、教師の説明、ビデオの視聴）に対する学習者の性格づけを「学習への期待」「難しさの知覚」「利用の好み」の3尺度から明らかにすることを試みた。また、学習者の特性と、メディアに対する性格づけがどのように関連しているかについても考察を行った。その結果、次の4点が明らかになった。

- 1) 「学習期待」と「好み」の2尺度は、メディア活動の順位に対応して正相関を示したが、「難しさ」は、他の2尺度と異なる順位であった。
- 2) 「難しさの尺度」において「歌の聞き取り」に対する性格づけは、性別、国籍によって有意傾向が見られた。女性よりも男性が、また、アジア系より欧米系学習者が、歌を難しいと知覚していた。
- 3) 学習期間は、「難しさの尺度」で「歌の聞き取り」に対する性格づけのみに有意な負の相関関係 ($p < .01$) が認められた。よって、学習期間が長いほど、歌の聞き取りは難しくないと知覚していた。
- 4) 「難しさ」と他の2尺度間では、「ビデオに基づくロールプレイ」にのみ、有意な負の相関関係が認められ、「ビデオに基づくロールプレイ」は好まれないほど、また、学習に対する期待が低いほど、難しいと知覚されていた。

1. はじめに

1.1 研究の背景と問題の所在

近年、言語習得に影響を与える要因として外国語学習に対する信念 (belief) や学習スタイルなどの学習者の特性が注目を集めている。日本語教育においても、Horwitz (1987) が作成した「言語学習に関する確信のための質問項目」(BALLI: Beliefs About Language Learning Inventory) などを利用して、外国語学習に対する確信の傾向を明らかにする研究が報告されている(岡崎1996, 山本1998)。さらに、国籍別、母語別に、主に好みを調査対象として、一般的な学習スタイルの差異を明らかにする報告もある(渡辺1997, 江原1998)。しかし、これらは、外国語学習全般に対する学習スタイルの調査にとどまっているため、個々の授業設計に応用できにくくなっている。

一方、メディア比較研究の分野では「どのような学習者に対してどのような教授法、教

材が効果的であるのか」という視点から、コンピュータやテレビ番組などのメディア⁽¹⁾に対する学習者の認知的・情意的な性格づけ⁽²⁾に関する調査が行われ、その成果が報告されている (Solomon1984, Solomon&Leigh1984, 佐賀1995)。これらの研究では、学習者がメディアを用いて学習することが好きかどうか、また、難しいと感じるかが、課題に対して費やされる心的努力の量に影響を及ぼすため、学習効果が異なることが指摘されている (Solomon1984)。つまり、「メディアによって提示される課題にどれだけ『集中する』かが、そこからの学習に反映する (佐賀1995, p25)」ことが実証的に究明されつつある。このような Solomon らによる一連の研究によって、学習者がメディアに対してどのような性格づけを行っているかが、研究者の関心を集めるようになってきている。

日本人を対象としたメディア研究としては、佐賀 (1988) が、小学生を対象に①テレビを視聴すること②コンピュータを使うこと③本を読むこと④文を書くこと⑤先生の話聞くことの5つのメディア活動に対する性格づけ (先有知覚 preconceptions) を、「好み」「難しさ」「学習への期待」という3つの尺度から調査を行っている。その結果、ある活動への好みはその活動の難しさと逆相関にあり、学習期待と好みとは正相関があることがわかった。さらに、同様の調査を中学生、および大学生に対して行った結果、佐賀 (1988) の調査と同じく、学習期待と好みとは安定的に正相関があることが確認された (佐賀1993, 1995)。また、白 (1993) は、韓国人の小中学生を対象として調査を行い、利用が難しいメディアにおいては学習しにくく、学習しやすいメディアでは難しくないと知覚されているという関係を報告している。

1.2 研究の目的

本研究では、佐賀 (1993,1995)、白 (1993) を参考に、会話授業で実際に用いたメディアに対する学習者の性格づけ (先有知覚 preconceptions) を「学習への期待」「難しさの知覚」「利用の好み」の3尺度から明らかにすることを試みた。また、渡辺 (1997) Gradman & Hanania (1991) らの先行研究をふまえて、外国語学習に影響を与えると考えられる性別、国籍、学習期間などの学習者の特性と、メディアに対する性格づけがどのように関連しているかについても考察を行うことを目的とする。

2. 調査方法

2.1 被験者

国際基督教大学と帝京大学留学生別科の初級学習者35名 (男性19名、女性16名) を対象とした。被験者の日本語学習期間は6ヶ月から5年とかなり差があったが、プレイスメントテストによって、ほぼ同レベルと判断されていた。

国籍は、中国11名、アメリカ9名、イギリス3名、香港3名、台湾2名、フィンランド

2名、オランダ、カナダ、韓国、インドネシア、タイが各1名である。

2.2 調査方法

佐賀（1993；1995）を参考に、会話授業で実際に用いた5種類の活動⁽³⁾（歌の聞き取り、ビデオに基づくロールプレイ、教科書に基づくロールプレイ、教師の説明、ビデオの視聴）について、「学習への期待」「難しさの知覚」「利用の好み」の3尺度ごとに、5つの活動の可能な組み合わせの対（10通り）を提示し、一方を選択させた。したがって、計30対の選択がある。例えば、「学習への期待」では「どちらが効果的だと思いますか」と質問して、「ビデオ視聴－教師の説明」などの対から、どちらかを選ばせる方式をとった。「難しさの知覚」については、「どちらが難しいと思いますか」、「利用の好み」については、「どちらを使って勉強したいですか」という質問をした。

3. 結 果

3.1 学習期待、好み、難しさの知覚

メディア活動に対する評価については、各尺度ごとに5つのメディア活動の組み合わせの対から、一方が選択された割合を算出した。その結果を選択比率が低い順に、左から右方向へ、上から下方向へと配列したものが、表1から表3である。表中の各数値は、縦方向（列要素）の活動が、横方向（行要素）に対して選択された比率を表している。例えば、表1で、「日本の歌の聞き取り」を「ビデオに基づくロールプレイ」より学習期待が高いと回答した被験者の比率は、20%である。

表1 学習への期待に対する選択比率

	日本の歌	教 role-play	ビ デ オ	教師の説明	ビ role-play
日本の歌	----	.69	.69	.71	.80
教 role-play	.31	----	.57	.63	.71
ビ デ オ	.31	.43	----	.54	.63
教師の説明	.29	.35	.46	----	.51
ビ role-play	.20	.29	.37	.49	----

表2 利用の好みに対する選択比率

	日本の歌	教 role-play	ビ デ オ	教師の説明	ビ role-play
日本の歌	----	.49	.57	.74	.63
教 role-play	.51	----	.37	.60	.69
ビ デ オ	.43	.63	----	.60	.54
教師の説明	.26	.40	.40	----	.51
ビ role-play	.37	.31	.46	.49	----

表3 難しさに対する選択比率

	教師の説明	ビ デ オ	教 role-play	ビ role-play	日 本 の 歌
教師の説明	----	.66	.63	.69	.74
ビ デ オ	.34	----	.63	.57	.63
教 role-play	.37	.37	----	.60	.57
ビ role-play	.31	.43	.40	----	.57
日 本 の 歌	.26	.37	.43	.43	----

これらの表を統計的に処理して標準化し、サーストンの一対比較法の手続きによって各活動相互間の心理的距離を算出した結果が、図1のメディア活動相互間の尺度図である。この図では、学習者の性格づけが一致する割合が高いほど、各メディア活動相互間の心理的距離は大きく、また、性格づけが多様化して一致度が低くなるほど、活動相互間の心理的距離は小さくなるため、メディアに対する性格づけを直感的に把握することができる。この図において、学習期待の尺度では、メディア間の心理的距離が最も大きく離れ、学習者の性格づけの傾向が明確で弁別しやすいが、好みの尺度では、活動相互間の心理的距離が小さく、学習者の性格づけの傾向が弁別しにくいことを示している。

さらに、各尺度ごとにメディア活動の順位を見ると、「学習期待の尺度」では、より学習できると期待される順に、ビデオのロールプレイ、教師、ビデオ視聴、教科書のロールプレイ、歌であった。

「好みの尺度」でも、より好まれる方から、ビデオのロールプレイ、教師、ビデオ視聴、教科書のロールプレイ、歌の順で、「学習期待の尺度」と対応関係が見られた。一方、「難しさの尺度」では、歌、ビデオのロールプレイ、教科書のロールプレイ、ビデオ視聴、教師の順に難しいと知覚されており、「好みの尺度」と「学習期待の尺度」とは、異なった順位であった。

(1) 学習期待の尺度

So		Tro	Vid	Le	Vro
!		!	!	!	!
0.00		0.51	0.74	0.95	1.18

(2) 好みの尺度

So	Tro	Vid	Le	Vro
!	!	!	!	!
0.00	0.18	0.32	0.49	0.59

(3) 難しさの尺度

Le		Vid	Tro	Vro	So
!		!	!	!	!
0.00		0.41	0.59	0.74	0.91

日本の歌=So, 教科書のrole-play=Tro, ビデオ視聴=Vid, 教師の説明=Le, ビデオのrole-play=Vro

図1. メディア活動相互間の尺度図

3.2 各尺度（学習期待、難しさ、好み）と学習期間の相関

各尺度ごとに、5活動の組み合わせから、それぞれの活動を選んだ回数（最高4、最低0）を測度として、5活動×3尺度の相関行列を算出した。その結果が表4である。

表4 3尺度（学習への期待、難しさ、利用の好み）と学習期間の相関

	So E	Vid E	Le E	Tro E	Vro E	So D	Vid D	Le D	Tro D	Vro D	So P	Vid P	Le P	Tro P	Vro P
SoE	1.00														
VidE	-.09	1.00													
LeE	-.45**	-.43**	1.00												
TroE	-.30	-.47**	.03	1.00											
VroE	-.23	.12	-.29	-.34*	1.00										
SoD	-.19	-.06	.06	.09	.12	1.00									
VidD	.33*	.14	-.31	-.18	.03	.02	1.00								
LeD	.15	-.30	-.11	.26	-.03	-.28	-.29	1.00							
TroD	-.24	.15	.12	-.19	.21	-.46**	-.24	-.34*	1.00						
VroD	-.00	.13	.21	-.05	-.37*	-.48**	-.36*	-.17	.15	1.00					
SoP	.57**	-.22	-.02	-.22	-.21	-.06	.18	.04	-.22	.10	1.00				
VidP	-.12	.65**	-.35*	-.11	.00	-.26	.11	-.18	.12	.32	-.34*	1.00			
LeP	-.29	-.39*	.69**	.14	-.28	.00	-.15	-.02	.16	-.01	-.23	-.33	1.00		
TroP	-.19	-.06	-.18	.47**	-.02	.15	-.10	.03	-.14	.01	-.15	-.21	-.37*	1.00	
VroP	-.01	.12	-.25	-.31	.61**	.17	-.04	.14	.10	-.45**	-.41*	.00	-.16	-.27	1.00
year	.27	-.24	-.05	-.05	.07	-.52**	-.09	.28	.28	.13	.25	-.07	-.14	-.12	.07

** p < .01

* p < .05

SoE	歌・期待	SoD	歌・難しさ	SoP	歌・好み
VidE	ビデオ・期待	VidD	ビデオ・難しさ	VidP	ビデオ・好み
LeE	教師・期待	LeD	教師・難しさ	LeP	教師・好み
TroE	教科書role-play 期待	TroD	教科書role-play 難しさ	TroP	教科書role-play 好み
VroE	ビデオrole-play 期待	VroD	ビデオrole-play 難しさ	VroP	ビデオrole-play 好み

これから、次の3点が明らかになった。

- 1) 「好み」と「学習期待」の2尺度間では、5つのメディア活動すべてにおいて有意の相関関係 ($p < .01$) が認められ、ある活動を好むほど、その活動から学習しやすいと知覚され、学習できると期待する活動ほど好むという相関関係が認められた。
- 2) 「難しさ」と「好み」及び「学習期待」の組み合わせは、一貫した相関関係は見られなかったが、「ビデオに基づくロールプレイ」にのみ、有意な負の相関関係が認められた。したがって「ビデオに基づくロールプレイ」は好まれず、学習期待が低いほど難しいと知覚され、また、難しいと知覚されるほど、好まれず学習期待も低いと知覚されている。

3) 「学習期間」については、「歌の聞き取り」に対する「難しさ」においてのみ有意な負の相関関係 ($p < .01$) が認められた。すなわち、学習期間が長いほど、歌の聞き取りを難しくないと知覚していた。

3.3 メディア活動に対する性格づけと背景要因

さらに、性別、国籍（アジア系・欧米系）別についてメディア活動ごとの選択回数の差を求めた結果、学習者の特性とメディア活動に対する性格づけの関連では、難しさの尺度で「歌の聞き取り」において有意傾向が見られた。つまり、女性よりも男性のほうが、また、アジア系より欧米系学生のほうが、歌の聞き取りを難しいと知覚する有意傾向が見られた。

表5 男女別のメディア活動への性格づけ

(1) 学習期待	日本の歌	ビデオ 視聴	教師の 説明	テキスト role-play	ビデオ role-play
全体平均	1.11	2.09	2.37	1.77	2.66
男性 (N=19)	1.00	2.11	2.47	1.90	2.53
女性 (N=16)	1.25	2.06	2.25	1.63	2.81
検 定	t=0.416	t=0.068	t=0.331	t=0.385	t=0.648
(2) 難しさ	日本の歌	ビデオ 視聴	教師の 説明	テキスト role-play	ビデオ role-play
全体平均	2.51	1.83	1.29	2.09	2.29
男性 (N=19)	3.05	1.95	0.90	2.00	2.11
女性 (N=16)	1.86	1.69	1.75	2.19	2.50
検 定	t=1.827 †	t=0.461	t=1.145	t=0.301	t=0.802
(3) 好み	日本の歌	ビデオ 視聴	教師の 説明	テキスト role-play	ビデオ role-play
全体平均	1.57	2.00	2.23	1.83	2.37
男性 (N=19)	1.26	2.11	2.47	1.84	2.32
女性 (N=16)	1.94	1.88	1.94	1.81	2.44
検 定	t=1.220	t=0.360	t=0.749	t=0.044	t=0.234

表6 国籍別のメディア活動への性格づけ

(1) 学習期待	日本の歌	ビデオ視聴	教師の説明	テキスト role-play	ビデオ role-play
アジア(N=19)	1.53	1.90	2.26	1.68	2.63
欧米(N=16)	0.63	2.31	2.50	1.88	2.69
検 定	t=1.281	t=0.621	t=0.315	t=0.266	t=0.104
(2) 難しさ	日本の歌	ビデオ視聴	教師の説明	テキスト role-play	ビデオ role-play
アジア(N=19)	1.95	1.90	1.47	2.21	2.47
欧米(N=16)	3.19	1.75	1.06	1.94	2.06
検 定	t=1.803†	t=0.239	t=0.506	t=0.410	t=0.751
(3) 好み	日本の歌	ビデオ視聴	教師の説明	テキスト role-play	ビデオ role-play
アジア(N=19)	1.95	1.90	2.16	1.63	2.37
欧米(N=16)	1.13	2.13	2.31	2.06	2.38
検 定	t=1.313	t=0.365	t=0.199	t=0.615	t=0.011

† p < .10

4. 考 察

本研究では、初級日本語学習者を対象として、会話授業で実際に経験したメディア活動（歌の聞き取り、ビデオに基づくロールプレイ、教科書に基づくロールプレイ、教師の説明、ビデオの視聴）に対する学習者の性格づけを、学習期待、難しさ、好みという3尺度を使って明らかにすることを試みた。その結果、一対比較法によるメディア活動の心理的距離（図1参照）から「好み」と「学習期待」の2尺度間で順位に対応関係が見られた。また、各尺度ごとの活動相互間の心理的距離を比較すると、学習期待の尺度でもっとも弁別しやすく、好みの尺度で最も弁別しにくいことが明らかになった。

さらに、5メディア活動の3尺度間の相関関係に着目すると、「好み」と「学習期待」の2尺度間で、一貫した相関関係が認められた（表4参照）。したがって、ある活動を好むほど、その活動が学習を容易にすると知覚され、また、学習が容易であると期待する活動ほどそれを好むという傾向がみられた。このような好みと学習期待の正の相関関係は、日本人の小中学生、および大学生を対象とした先行研究（佐賀1993, 1995, 白1993）でも認められた安定した傾向である。

しかし、「難しさ」と他の尺度との組み合わせでは、「ビデオに基づくロールプレイ」にのみ逆相関が見られた。したがって、ビデオに基づくロールプレイは、好まれず、学習期待が低いほど難しいと知覚され、また、難しいほど、好まれず学習期待も低いと知覚される傾向がある。しかし、メディア活動相互間の心理的距離を示した結果（図1参照）とあわせると、ビデオに基づくロールプレイは「学習への期待も高く、好まれているが、難し

いとも知覚されているメディア」という複雑な位置を占めているのではないだろうか。

学習者の背景要因とメディア活動に対する性格づけとの関連では、難しさの尺度で「歌の聞き取り」において有意傾向が見られた（表5、6参照）。つまり、女性よりも男性のほうが、また、アジア系より欧米系学生のほうが、歌の聞き取りを難しいと知覚する傾向が見られた。さらに、学習期間（表4参照）についても、有意な負の相関関係（ $p < .01$ ）が認められ、「歌の聞き取り」は、学習期間が長いほどやさしく、短いほど難しいと知覚される傾向があった。したがって、「歌」は、学習期間が長いアジア系の女性学習者にはあまり難しくなく、学習期間の短い欧米系の男性学習者には、かなり難しいメディアと知覚されている。

5. 学習者の特性を考慮した会話授業の設計へのヒント

佐藤（1997）が指摘するように、映像教材等⁽⁴⁾のメディアは、現実の言語使用に近いコミュニケーションモデルが提示できるため、異文化教育という視点からも期待が大きいといえる。しかし、「情報が過剰であるために、これを受け取る学習者の側では、情報選択の必要性にせまられる。教材の作成や提示の仕方に注意しないと、教師の意図とは全く違った情報が受信される可能性もある（佐藤1997, p3）」とその利用の難しさについても言及している。

本研究の結果からも、ビデオ教材はその情報量の多さと内容の豊かさから、「学習期待」や「好み」という尺度からは高い評価を得る反面、学習期間の短い初級学習者には「難しく」て「学習できない」という負担感を与えていると思われる。特に、「ビデオに基づくロールプレイ」に対する結果から、プロダクション活動でビデオを用いる場合には、学習者に応じたレベルの映像教材の選択や表現・語彙リスト等の準備など学習者の負担感を軽減する工夫が重要となってくると考えられる。

また、日本の歌を利用した活動⁽⁵⁾は異文化理解という点からも注目されるが、初級の段階では、学習期間や国籍、性別などによってメディア活動に対する性格づけに違いが見られるため、その多様性に配慮した授業設計が必要となってくる。

注

- 1) メディアとは、教授・学習課程において提示される情報の媒体を意味する。例えば、実物提示、口頭伝達、印刷物、テレビ番組、教材映画などがある。
- 2) メディア比較研究では、学習者がメディアに対してあらかじめ形成された信念や性格づけを、先有知覚 (preconceptions) と呼ぶ。佐賀 (1995) は、教室内におけるメディアの利用も、利用者の日常的なメディア経験からもたらされる心理的諸文脈から影響を受けることを指摘している。
- 3) 授業で取り上げたメディア活動は次の5つである。①オーディオテープによる日本の歌のききとりを行い、その後歌ってみる②ビデオ教材によるモデル提示に基づくロールプレイ③印刷教材 (テキスト) による文法、表現練習に基づくロールプレイ④教師の説明を聞く⑤トランスクリプトを見ながらビデオ教材を視聴する。
- 4) 日本語教育における映像教材の利用については、高木 (1990)、村野 (1984) などに実践的な報告がある。
- 5) 寺内 (1995) は中上級の学習者を対象として日本の歌を取り入れた授業報告を行っている。

参考文献

- 岡崎眸(1996)「教授法の授業が受講生のもつ言語学習についての確信に及ぼす効果」『日本語教育』89, pp. 25-38
- 江原有輝子(1998)「日本人日本語教師とメキシコ人学習者の学習スタイルの違い」『日本語教育』96, pp. 13-24
- 佐賀啓男(1988)「多メディア利用事態における学習者のメディア知覚と教師の役割」『放送教育開発センター研究紀要』1, pp. 95-115
- 佐賀啓男(1993)「中学生のメディアに対する先有知覚の性格と学習」『視聴覚教育研究』23, pp. 55-68
- 佐賀啓男(1995)「学習場面でのメディアに対する大学生の性格づけの構造」『放送教育開発センター研究紀要』12, pp. 21-39
- 佐藤勢紀子 (1997)「異文化教育における映像教材の利用法」『放送教育開発センター研究紀要』14, pp. 1-20
- 高木裕子 (1990)「初級レベルのビデオとロールプレイを組み合わせた授業の試み」『ICU 夏期日本語講座論集』6, pp. 108-119
- 寺内弘子 (1995)「歌を教材とした日本語教育と異文化コミュニケーション」『日本語教育方法研究会誌』Vol. 2 No2, pp. 4-5

- 白南権 (1993) 「児童・生徒の学習メディアに対する先有知覚」『視聴覚教育研究』23, pp. 55-68
- 村野良子 (1984) 「ドラマ方式を用いた日本語授業—日本語教育映画を使った場合」『日本語教育』53, pp. 83-92
- 山本そのこ (1998) 「日本語学習者の学習性向についての一考察—中国人・ドイツ人学習者のピリーフ比較から—」『日本語教育方法研究会誌』Vol. 5 No2, pp. 4-5
- 渡辺裕司 (1997) 「オーストラリアのハイスクール生の日本語学習における『好み』」『日本語教育』95, pp. 121-132
- Gradman, H. L. & Hanania, E. (1991) "Language Learning Background Factors and ESL Proficiency." *MLJ* 75, 39-51
- Horwitz, E.K.(1987) Survey Student Belief About Language Belief. In Wenden, A. and J. Rubin (eds.) *Learner strategies in language learning*. UK :Prentice-Hall International. pp. 119-129
- Solomon, G. (1984) Television is "easy" and print is "tough": The differential investment of mental effort in learning as a function of perceptions and attributions. *Journal of Educational Psychology*, 76, pp. 647-658
- Solomon, G. and T. Leigh (1984) Preconceptions about learning from print and television. *Journal of Communication* 34, pp. 119-135
- Wenden, A. and J. Rubin (1987) *Learner strategies in language learning*. N.Y. : Prentice-Hall International

参考資料

会話を勉強する時、どんな教育方法・手段が好きですか。(Please answer your preference of educational media to learn conversation.)

1) 2つを比べて、どちらが難しいですか。丸をつけなさい。

(Which one is more difficult, comparing two choices? Circle one.)

- ① 教科書のロールプレイ text book role play — ビデオを見てロールプレイ role play related to video
- ② 先生の説明 teacher's explanation — 訳付きでビデオ video with transcript
- ③ ビデオを見てロールプレイ role play related to video — 先生の説明 teacher's explanation
- ④ 訳付きでビデオ video with transcript — 日本の歌 listening to Japanese songs
- ⑤ 教科書のロールプレイ text book role play — 先生の説明 teacher's explanation
- ⑥ 日本の歌 listening to Japanese songs — 教科書のロールプレイ text book role play
- ⑦ 訳付きでビデオ video with transcript — ビデオを見てロールプレイ role play related to video

- ⑧ 日本の歌 listening to Japanese songs — 先生の説明 teacher's explanation
- ⑨ 教科書のロールプレイ text book role play — 訳付きでビデオ video with transcript
- ⑩ ビデオを見てロールプレイ role play related to video — 日本の歌 listening to Japanese songs

2) 2つを比べて、どちらが 効果的ですか。丸をつけなさい。

(Which one is more effective, comparing two choices? Circle one.)

- ① 教科書のロールプレイ text book role play — ビデオを見てロールプレイ role play related to video
- ② 先生の説明 teacher's explanation — 訳付きでビデオ video with transcript
- ③ ビデオを見てロールプレイ role play related to video — 先生の説明 teacher's explanation
- ④ 訳付きでビデオ video with transcript — 日本の歌 listening to Japanese songs
- ⑤ 教科書のロールプレイ text book role play — 先生の説明 teacher's explanation
- ⑥ 日本の歌 listening to Japanese songs — 教科書のロールプレイ text book role play
- ⑦ 訳付きでビデオ video with transcript — ビデオを見てロールプレイ role play related to video
- ⑧ 日本の歌 listening to Japanese songs — 先生の説明 teacher's explanation
- ⑨ 教科書のロールプレイ text book role play — 訳付きでビデオ video with transcript
- ⑩ ビデオを見てロールプレイ role play related to video — 日本の歌 listening to Japanese songs

3) 2つを比べて、どちらが 好きですか。丸をつけなさい。

(Which one do you prefer to learn conversation? Circle one.)

- ① 教科書のロールプレイ text book role play — ビデオを見てロールプレイ role play related to video
- ② 先生の説明 teacher's explanation — 訳付きでビデオ video with transcript
- ③ ビデオを見てロールプレイ role play related to video — 先生の説明 teacher's explanation
- ④ 訳付きでビデオ video with transcript — 日本の歌 listening to Japanese songs
- ⑤ 教科書のロールプレイ text book role play — 先生の説明 teacher's explanation
- ⑥ 日本の歌 listening to Japanese songs — 教科書のロールプレイ text book role play
- ⑦ 訳付きでビデオ video with transcript — ビデオを見てロールプレイ role play related to vide
- ⑧ 日本の歌 listening to Japanese songs — 先生の説明 teacher's explanation
- ⑨ 教科書のロールプレイ text book role play — 訳付きでビデオ video with transcript
- ⑩ ビデオを見てロールプレイ role play related to video — 日本の歌 listening to Japanese songs